

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-237966

(43) Date of publication of application : 31.08.2001

(51)Int.Cl.

H04M 3/42

H040 7/38

H04H 1/02

H04L 12/18

H04M 1/00

H04M 3/493

H04N 5/00

H04N 7/173

(21)Application number : 2000-047714

(71)Applicant : COMPUTER CONVENIENCE:KK

(22)Date of filing : 24.02.2000

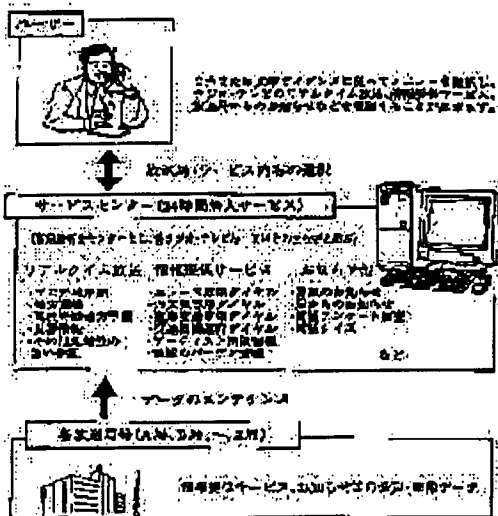
(72)Inventor : NOFUJI YASUNORI

(54) METHOD AND SYSTEM FOR TRANSMITTING INFORMATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To freely obtain information of an information source such as a radio or TV broadcasting by a voice and a video, etc., via a telephone.

SOLUTION: An information transmitting method and its system are constituted to freely obtain the broadcasting contents of a near place or a remote place by selectively obtaining broadcasted contents or the contents being on the air from a broadcasting station via the telephone.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

26.02.2007

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision

[0012]

As shown in Fig. 1, a round-the-clock unattended service of radio and TV broadcast is available by telephone. A service center offering the service provides data maintenance. A key broadcasting station and/or its branches are connected online with the center so that the information involved is updated in real time or at predetermined intervals for the center. The information thus maintained includes not only voices but also images and other diverse forms of data.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-237966

(P2001-237966A)

(43) 公開日 平成13年8月31日 (2001.8.31)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
H 0 4 M 3/42		H 0 4 M 3/42	Z 5 C 0 5 6
H 0 4 Q 7/38		H 0 4 H 1/02	F 5 C 0 6 4
H 0 4 H 1/02		H 0 4 M 1/00	R 5 K 0 1 5
H 0 4 L 12/18		3/493	5 K 0 2 4
H 0 4 M 1/00		H 0 4 N 5/00	B 5 K 0 2 7
審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2000-47714(P2000-47714)

(22) 出願日 平成12年2月24日 (2000.2.24)

(71) 出願人 392021311

株式会社コンピュータコンビニエンス

福岡市博多区博多駅前3丁目6番1号

(72) 発明者 野藤 泰昇

福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目6番1

号 株式会社コンピュータコンビニエンス

内

(74) 代理人 100057874

弁理士 曾我 道照 (外6名)

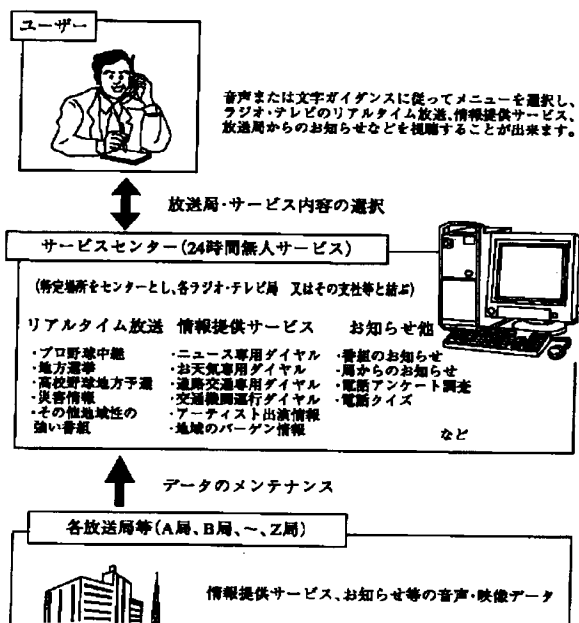
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報伝送方法及びシステム

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、電話を介してラジオ・テレビ放送等の情報源の情報を音声・映像等で自由に得られることを目的とする。

【解決手段】 本発明による情報伝送方法及びシステムは、放送局からの放送済み又は放送中の放送内容を電話を介して選択して得ることにより、近所及び遠隔地の放送内容を自在に得ることができる構成である。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電話機(1)から電話網を経由して情報処理部(3)に電話を接続し、前記情報処理部(3)では前記電話で指定された情報源(4)の情報を前記電話機(1)に送るようにした情報伝送方法において、前記情報源(4)は放送局であり、前記情報は既に放送済みの放送内容又は現在放送中の放送内容であることを特徴とする情報伝送方法。

【請求項 2】 前記情報を前記電話機(1)に送る前に、前記情報に関する内容を選択するため前記情報の内容の一部を示す複数のメニューを前記電話機(1)に送ることを特徴とする請求項 1 記載の情報伝送方法。

【請求項 3】 前記情報が前記電話機(1)に送られた後は、前記情報処理部(3)が前記電話機(1)の電話回線(2)を監視し、前記電話機(1)の受話器が置かれて非通話状態となったことを確認すると、前記電話回線(2)がオフとなり、前記情報の前記電話機(1)への伝送が中止されることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の情報伝送方法。

【請求項 4】 前記放送内容は、音声又は映像よりなることを特徴とする請求項 1 ないし 3 の何れかに記載の情報伝送方法。

【請求項 5】 電話機(1)から情報処理部(3)に電話を接続し、前記情報処理部(3)では前記電話で指定された情報源(4)の情報を前記電話機(1)に送るようにした情報伝送装置において、前記情報処理部(3)は少なくとも前記電話回線(2)に接続された切換・送出装置及びコンピュータよりなり、前記情報源(4)は前記情報処理部(3)に接続されかつ音声又は映像よりなることを特徴とする情報伝送システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、情報伝送方法及びシステムに関し、特に、ユーザーが電話機によって特定の近所（通常受信圏内）又は遠隔地（同圏外）の放送局の放送内容を自在に得ることができるようにするための新規な改良に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、電話機を介して得られる情報としては、117 番の時刻、177 番の天気予報の他に、特定の番号にかけることにより特定の情報が聞ける情報サービスやテレホンクラブ又はダイヤル Q 2 等が用いられていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の情報伝送方法は、以上のように構成されていたため、次のような課題が存在していた。すなわち、117 番、177 番、情報サービス、ダイヤル Q 2 等の電話の情報源も、各々のニーズに合わせた機能を有してはいるが、近所あるいは遠隔地の本人に関係する情報を放送している放送局の情報

は全く発信されておらず、特に、ラジオに関して特定局のみを聞く方式は存在したが複数局の放送を選択することは不可能であった。また、電話をすると、直接特定の放送を聞くことはできたが、電話をして案内が入り、この案内に基づいて複数の放送局を選択できるシステムは実現されていなかった。

【0004】本発明は、以上のような課題を解決するためになされたもので、特に、ユーザーが電話機によって特定の近所（通常受信圏内）又は遠隔地（同圏外）の放送局の放送内容を自在に得ることができるようにした情報伝送方法及びシステムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明による情報伝送方法は、電話機から電話網を経由して情報処理部に電話を接続し、前記情報処理部では前記電話で指定された情報源の情報を前記電話機に送るようにした情報伝送方法において、前記情報源は放送局であり、前記情報は既に放送済みの放送内容又は現在放送中の放送内容とする方法であり、また、前記情報を前記電話機に送る前に、前記情報に関する内容を選択するため前記情報の内容の一部を示す複数のメニューを前記電話機に送る方法であり、また、前記情報が前記電話機に送られた後は、前記情報処理部が前記電話機の電話回線を監視し、前記電話機の受話器が置かれて非通話状態となったことを確認すると、前記電話回線がオフとなり、前記情報の前記電話機への伝送が中止される方法であり、また、前記放送内容は、音声又は映像よりなる方法であり、また、電話機から情報処理部に電話を接続し、前記情報処理部では前記電話で指定された情報源の情報を前記電話機に送るようにした情報伝送装置において、前記情報処理部は少なくとも前記電話回線に接続された切換・送出装置及びコンピュータよりなり、前記情報源は前記情報処理部に接続されかつ音声又は映像よりなる構成である。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、図面と共に本発明による情報伝送方法及びシステムの好適な実施の形態について説明する。図 2 において符号 1 で示されるものは固定型又は携帯型等の電話機であり、この電話機 1 は電話回線 2 を介して情報処理部 3 に接続されている。前記情報処理部 3 は、周知の切換・送出装置及びコンピュータ等から成っており、ラジオ等（音声のみでなく TV の映像と音声も可）からなる情報源 4 を選択する構成である。

【0007】前記情報処理部 3 には、ラジオ・テレビ等の情報源 4 が接続され、この情報源 4 は複数の放送局を受信できるように構成され、この情報源 4 は、ラジオの他に、テレビ複数局、CATV 複数局他あらゆる音声及び映像のソースを採用することができる。

【0008】次に、動作について説明する。まず、ユーザーが電話機 1 を使って電話回線 2 を経由して情報処理部 3 にアクセスし、情報処理部 3 がこの呼出信号を検出

し、電話回線2が接続され、音声又は文字ガイダンスにて案内のメッセージが送出されるが、この時点では未だ情報源4の音声又は映像は送出されない。

【0009】前述の案内が終了すると、情報処理部3は情報源4の情報の送出（すなわち、生の放送をそのまま出すか、又は予め蓄積した内容を出す場合がある）を開始する。

【0010】前記情報を電話機1に送る前に、情報に関する内容を選択するためこの情報の内容の一部を示す複数のメニューを電話機1に送る。次に、前述の情報源4の情報を送出中、情報処理部3は、この電話回線2を監視し、ユーザーが受話器をおいて非通話状態となったことを確認すると、電話回線2を切断し、前記情報の電話機への伝送が中止される。

【0011】また、図1は、前述のユーザーが情報源4の呼び出し、前記情報の送出を行う場合の内容をより詳細に示すものである。すなわち、ユーザーは、音声、文字ガイダンス等に従って情報源4の情報（既に放送済みの放送内容又は現在放送中の放送内容）の一部を示す複数のメニューを選択し、ラジオ、テレビのリアルタイム放送、音声及び画像の情報提供サービス、ラジオ及びテレビ局からのお知らせなどを視聴することができる。なお、前述のメニューの中から所望の内容をユーザーが選択して情報を取るように電話回線2を接続し、例えばリアルタイム放送の情報視聴中にユーザーがこの電話回線を接続したままで例えば他のニュース等を聞きたくない場合には、前記情報視聴中に特定のコードを示すダイヤル信号#、1、2等を押すことにより、電話機1の表示が前記メニュー表示に戻るように情報処理部3で処理され、希望する他のニュース等をアクセスすることにより、電話回線を切ることなく前記他のニュース等に情報を切換えて視聴することができる。

【0012】また、図1のように、電話によるラジオ・テレビの24時間の無人サービスも可能であり、この24時間無人サービスのサービスセンターの情報としては、データのメンテナンスが行われ、各放送局又はその支局等とオンラインで接続されて、情報のリアルタイム又は一定時間毎の更新等が行われる。なお、前述の情報としては、音声に限らず、画像を含むあらゆるデータが対象となる。

【0013】

【発明の効果】本発明による情報伝送方法及びシステムは、以上のように構成されていたため、次のような効果

を得ることができる。すなわち、リアルタイムラジオ・テレビ等の放送の場合、いま放送中の各局の放送内容を、そのままユーザーの電話機で視聴することが出来、出張中の人、故郷のニュース・情報を視聴したい人に好適である。情報提供サービスの場合、放送局は、すでに放送した内容を中心にニュース、天気予報、道路交通情報などを、ユーザーのニーズに合わせて再編集して提供することが出来る。お知らせサービス、電話アンケート調査、電話クイズなどの場合、番組の予告はもちろん、各局からユーザーへ色々なお知らせをすることが出来、また、電話アンケート調査や電話クイズも24時間無人で行うことが出来る。また、ユーザーとしては、手近に電話機さえあれば、全国あらゆる地域でいま放送中のラジオ・テレビを視聴することが出来る。・出張時に気になる地元フランチャイズのプロ野球の試合経過もナイター中継を短時間視聴すれば安心である。・どうしても視聴したい高校野球予選、選挙の結果など、地域性の強い番組も故郷で聞くと同じタイミング、濃度で視聴することが出来る。ニュース、天気予報、道路交通情報、交通機関の運行情報、番組のお知らせ、芸能人出演情報など、ユーザーが欲しい情報、番組をもっと楽しむための情報を最新のタイミングで視聴することが出来る。また、電話会社の場合、ユーザーサービスの向上（新サービスの追加）がはかれる。トラフィック数の増大、通信量の増収が見込め、災害発生時の情報収集に役立つとともに、トラフィックの集中を防ぐことができる。また、放送局の場合、出張者、地域出身者など、視聴者を拡大し、視聴率アップができる。通常の放送で使ったニュース、天気予報、道路交通情報、交通機関の運行情報などを編集し直すだけで、視聴者が欲しがると新たな情報を提供することが出来、ラジオ・テレビのオンデマンド・サービスの創造となる。従って、電話ユーザー、電話会社、放送局の三者のメリットが一致するシステムである。

【図面の簡単な説明】

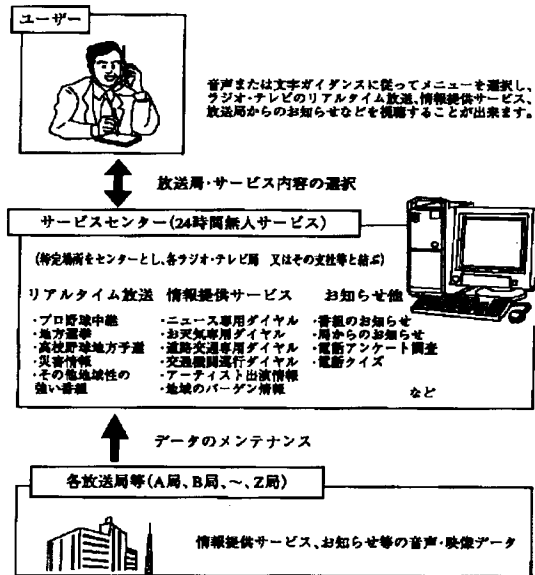
【図1】本発明による情報伝送方法及びシステムを示す概略構成図である。

【図2】図1のシステム系を示す構成図である。

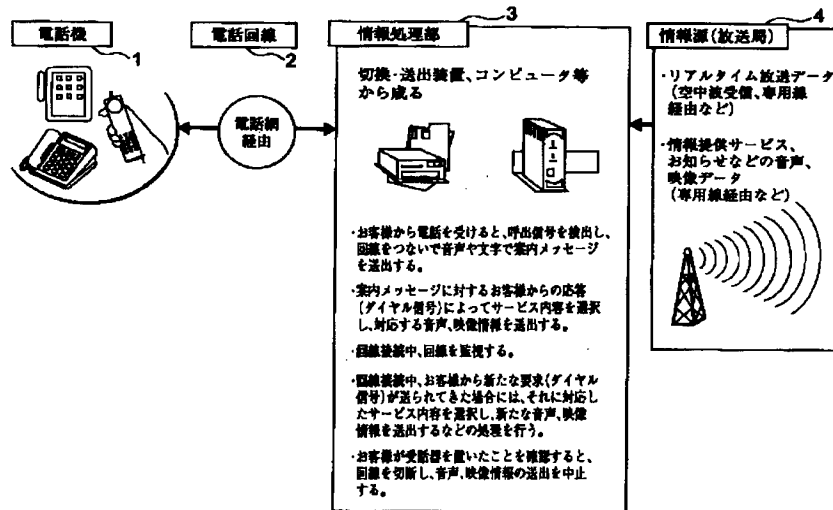
【符号の説明】

- 1 電話機
- 2 電話回線
- 3 情報処理部
- 4 情報源

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

H 0 4 M 3/493

H 0 4 N 5/00

7/173

識別記号

6 2 0

F I

H 0 4 N 7/173

H 0 4 B 7/26

H 0 4 L 11/18

テマコード(参考)

6 2 0 D 5 K 0 3 0

1 0 9 M 5 K 0 6 7

9 A 0 0 1

F ターム(参考) 5C056 FA03 HA01 HA04
5C064 BA01 BB05 BC10 BC16 BC20
BD02 BD08
5K015 AA00 AA06 AB00 AB01 GA00
GA01 GA04 GA07
5K024 AA76 BB00 BB03 BB05 CC01
CC11 DD01 EE01 EE02 FF04
FF06 GG00
5K027 AA02 AA11 BB01 EE03 FF01
FF22 FF28 HH00
5K030 JL01 JT01 JT09 KA01 KX28
LD07
5K067 AA34 BB04 BB21 DD52 DD53
EE02 EE12 EE32 FF02 FF23
FF25
9A001 BB04 BB06 CC02 DZ15 HZ15
HZ23 JJ12 JJ19 JJ27 KK43
KK60 KK62